

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

広島化成株式会社 本庄工場

(2) 事業所の所在地

広島県福山市南本荘1丁目5番21号

(3) 業種

1821 プラスチックフィルム製造業

(4) 事業所位置図 別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、2012年度基準とする2025年度から2028年度までの4年間とする。

3 計画の基本的な方向

1. 基本的な考え方

地球環境保全が人々の課題であると認識し、環境保全に積極的に取り組み継続的な推進を図ります。

2. 方針

工業用(含自動車用)ゴム・TPE商品(サービスを含む)、PVC商品等(サービスを含む)の設計・開発・製造・販売を事業活動としていることを踏まえ、トップマネジメントのリーダーシップの下、環境重点項目の活動を履行し環境汚染の防止に努めると共に、事業継続に影響を及ぼすリスクに対する対応力の向上に取り組めます

・具体的な環境目的・目標を定めPDCAサイクルを有効に回し環境マネジメントシステムの継続的改善及び汚染の予防を推進します。

・環境関連法規制、及び当社が同意するその他の要求事項を遵守します。

・環境方針は全従業員、及び供給者に周知徹底し、環境改善の意識向上を図ります。

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度	直近年度
	平成24（2012）年度	令和6（2024）年度
二酸化炭素	7,501	5,442

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度	直近年度
	平成（ ）年度	令和（ ）年度
二酸化炭素		

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度	直近年度
	平成（ ）年度	令和（ ）年度
メタン		
一酸化二窒素		
その他 温室効果 ガス (HFC PFC SF ₆ NF ₃)		

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量（t-CO₂）、削減率（%）

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 () 年度)	削減目標		目標年度 (令和 () 年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO ₂				0
非エネルギー起源CO ₂				0
メタン				0
一酸化二窒素				0
その他 温室効果ガス				0
温室効果ガス 実排出量総計				0
温室効果ガス みなし排出量		—		0
目標設定の考え方				

※ 削減率(b) = (c) / (a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

付加価値金額(生産金額－材料費)

単位：排出量(t-CO₂)、原単位量(kg等)、削減率(%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成24 (2012) 年度)			原単位 削減目標	目標年度 (令和10 (2028) 年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO ₂	7,501	1,097	6.8	42.7	5,638	1,440	3.9
非エネルギー起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
その他 温室効果ガス							
総排出量	7,501	1,097	6.8	42.7	5,638	1,440	3.9
エネルギー消費原単位 (原油換算kl)	—	—	2.58	46.6	—	—	1.38
目標設定の考え方	エネルギー起源CO ₂ は原単位ベース年1%の削減率						

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置及び目標並びに具体的な取組

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項 目	数値目標	具体的な取組
1	燃料使用量の削減	燃料使用量の1%削減	・暖房温度の適正管理 ・蒸気配管の保温カバーの強化 ・温室効果ガスの排出の少ない燃料への転換
2	電気使用量の削減	電気使用量の1%削減	・冷暖房温度の適正管理 ・休憩時間の消灯の徹底 ・事務所エアコンの更新 ・モーター駆動制御のインバータ化 ・LED照明への更新
3			
4			

※ 「原単位」で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること。

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種 類	合 計 量
1		
2		
3		

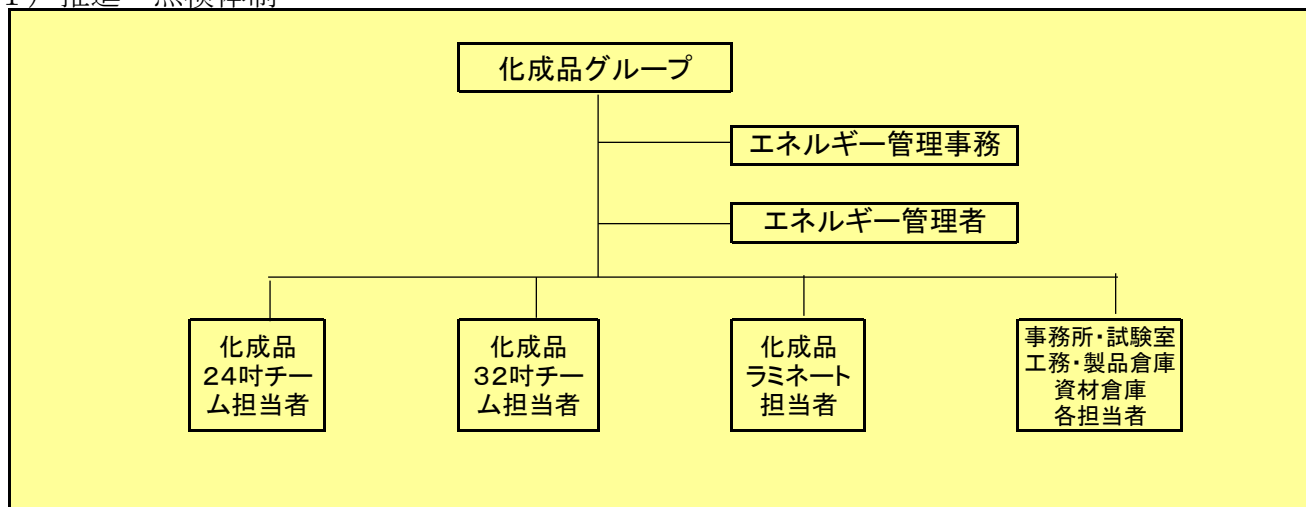
○ その他の取組

	項 目	数値目標	具体的な取組
1	廃棄物排出量の削減	コピー用紙使用量の削減	・両面コピー、裏面利用 ・分別収集及び資源化の徹底
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記載してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法

(1) 推進・点検体制



(2) 実施状況の点検・評価

総務グループESG推進課を中心として、毎年温室効果ガス削減計画の取組状況の把握、点検及び問題点の検討を行い、エネルギー管理委員会において定期的に評価、見直し等を行い、継続的な向上を図る

(3) 計画書等の公表

公表方法は、本社事務所への備え付けによる閲覧とする

